

岡山連携中枢都市圏における特定課題候補一覧

別紙

わが国全体で少子高齢化・人口減少が進行する中、圏域における持続可能な発展を図るためには、以下の公共交通や観光振興を含む多様な分野において、**従来型の市町村単位のフルセット主義から脱却して、広域連携をさらに深めていく必要**があります。

以下の個別テーマ(特定課題)から議論を出発させ、**圏域全体の発展に向けた広がりのある議論につながることも期待**しています。

特定課題	活動範囲	現状・課題	取組例
公共交通のPR	主な活動は備前市内	人口減少、高齢化、自家用車に依存した生活スタイルの一層の増加、さらには新型コロナウイルス感染症の影響で、公共交通利用者が減少しており、公共交通の維持・確保が課題となっている。	備前市の市営バスをPRするため、各路線の車窓動画を撮影(編集)し、配信する等、市民や観光客がバスに乗ろうと思うような取組
観光PR(吉備中央町)	主な活動は吉備中央町内	吉備中央町は、豊かな自然で採れる食べ物、自然を活かした体験を宿泊しながら楽しむことが出来る農家民宿の推進を行っているが、まだまだ、認知度が低い。	町内の観光施設や特産品等を県内外へ向けてのPRや、滞在型観光を目指すにあたり、町内の自然体験、特産品(コシヒカリ、猪肉、ぶどう、生で食べられるトウモロコシ等)を活かした魅力あるコンテンツの開発
観光PR(久米南町)	主な活動は吉備中央町内	町内には、「道の駅くめなん」「つなぐ棚田遺産認定の棚田」、「誕生寺」、「川柳の小径公園」などの観光資源や、都市部との農業体験イベント等があるものの、認知度が低く、観光客の増加や回遊に繋げることが出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅利用者のニーズ把握 ・町内の観光(体験イベントなど)の情報発信 ・道の駅を拠点とした町内の観光等への回遊 ・道の駅イベント広場を利用したイベント開催など

※必要に応じて、NPOや地域団体等との協働や、活動地域でのサポートを行います。

参考資料：第2期岡山連携中枢都市圏ビジョン（例えば、公共交通であればP33やP34の注2、観光振興であればP30～32などを参照）

<https://www.city.okayama.jp/shisei/cmsfiles/contents/0000020/20931/01.pdf>